



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社フーディソン 上場取引所 東
 コード番号 7114 URL https://foodison.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 山本 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼経営管理部長 (氏名) 内藤 直樹 TEL 050-1754-1990
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,894	-	122	-	121	-	74	-
2022年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 74百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	19.92	18.37
2022年3月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 2022年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 2022年12月16日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新規上場日から2023年3月期第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,133	1,915	61.1
2022年3月期	1,537	389	25.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,915百万円 2022年3月期 389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	44.8	130	-	130	-	78	-	21.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	4,378,740株	2022年3月期	3,678,940株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	ー株	2022年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	3,721,255株	2022年3月期3Q	ー株

（注）当社は、2022年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中、円安やウクライナ情勢を背景とした原材料・エネルギー価格の高止まりが続き、先行きの不透明感が拭えない状態で推移しました。

当社グループが属する食関連業界におきましては、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな持ち直しの動きが続いたものの、食品を始めとする物価上昇により生活者の消費マインドが低下するなど、先行き不透明な状況となっております。

このような事業環境のなか、当社グループは、「世界の食をもっと楽しく」をミッションに、「生鮮流通に新しい循環を」をビジョンに掲げ、事業に取り組んだ結果、業績は堅調に推移いたしました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高3,894,133千円、営業利益122,280千円、経常利益121,193千円、親会社株主に帰属する四半期純利益74,144千円となりました。

主要なサービス別の概況は以下のとおりであります。なお、当社グループは生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておらず、サービス別に区分して記載しております。

① BtoBコマースサービス

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,900,913千円となりました。

新型コロナウイルス感染症に対する社会的な緊張が緩和される中で「魚ポチ」の取引量が増加し、出荷件数は増加傾向にあります。

② BtoCコマースサービス

当第3四半期連結累計期間における売上高は707,500千円となりました。

2022年4月に「sakana bacca グランスタ東京店」を新規オープンし、2022年10月より東京丸の内にて約3カ月間の催事を行ったことから「sakana bacca」における売上高は増加いたしました。

③ HRサービス

当第3四半期連結累計期間における売上高は282,595千円となりました。

これまでは首都圏及び関西の都市におけるスーパー・小売店への人材紹介を中心に営業しておりましたが、飲食店向けの営業や、新規エリアの営業にも取り組んでおります。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,133,428千円（前連結会計年度末：1,537,218千円）となり、前連結会計年度末と比較して1,596,210千円の増加となりました。

流動資産は2,985,156千円（前連結会計年度末：1,397,555千円）となり、前連結会計年度末と比較して1,587,600千円の増加となりました。主な要因として、現金及び預金が1,030,959千円、売掛金が289,555千円、未収入金が223,258千円増加したこと等によります。

固定資産は148,272千円（前連結会計年度末：139,662千円）となり、前連結会計年度末と比較して8,609千円の増加となりました。主な要因として、投資その他の資産が9,200千円増加したこと等によります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,218,181千円（前連結会計年度末：1,147,880千円）となり、前連結会計年度末と比較して70,300千円の増加となりました。

流動負債は692,274千円（前連結会計年度末：599,837千円）となり、前連結会計年度末と比較して92,436千円の増加となりました。主な要因として、短期借入金が148,836千円減少したものの、買掛金が146,678千円、未払法人税等が38,019千円未払金が30,798千円、未払費用が11,265千円増加したこと等によります。

固定負債は525,906千円（前連結会計年度末：548,043千円）となり、前連結会計年度末と比較して22,136千円の減少となりました。主な要因として、長期借入金が25,980千円減少したこと等によります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,915,247千円（前連結会計年度末：389,337千円）となり、前連結会計年度末と比較して1,525,909千円の増加となりました。要因として、親会社株主に帰属する四半期純利益74,144千円を計上したこと、資本金及び資本剰余金がそれぞれ725,882千円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年12月16日に公表いたしました通期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	830,867	1,861,826
売掛金	308,861	598,416
商品	49,868	98,942
貯蔵品	1,047	1,407
未収入金	182,837	406,096
その他	24,264	18,838
貸倒引当金	△192	△372
流動資産合計	1,397,555	2,985,156
固定資産		
有形固定資産	84,505	84,584
無形固定資産		
その他	2,778	2,108
無形固定資産合計	2,778	2,108
投資その他の資産		
その他	55,611	64,812
貸倒引当金	△3,233	△3,233
投資その他の資産合計	52,378	61,579
固定資産合計	139,662	148,272
資産合計	1,537,218	3,133,428
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,858	302,537
短期借入金	248,836	100,000
1年内返済予定の長期借入金	30,200	38,520
リース債務	2,227	3,561
未払金	53,572	84,370
未払費用	59,334	70,599
未払法人税等	1,240	39,259
返金負債	5,664	3,424
その他	42,903	50,000
流動負債合計	599,837	692,274
固定負債		
長期借入金	506,440	480,460
リース債務	10,094	14,583
繰延税金負債	4,178	3,127
資産除去債務	27,329	27,735
固定負債合計	548,043	525,906
負債合計	1,147,880	1,218,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	825,882
資本剰余金	887,099	1,612,981
利益剰余金	△597,761	△523,616
株主資本合計	389,337	1,915,247
純資産合計	389,337	1,915,247
負債純資産合計	1,537,218	3,133,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,894,133
売上原価	2,472,802
売上総利益	1,421,330
販売費及び一般管理費	1,299,049
営業利益	122,280
営業外収益	
受取利息	4
助成金収入	16,161
その他	597
営業外収益合計	16,763
営業外費用	
支払利息	3,213
株式交付費	7,305
上場関連費用	7,123
その他	208
営業外費用合計	17,850
経常利益	121,193
特別損失	
減損損失	18,462
自己新株予約権消却損	6,346
特別損失合計	24,808
税金等調整前四半期純利益	96,384
法人税、住民税及び事業税	23,291
法人税等調整額	△1,051
法人税等合計	22,240
四半期純利益	74,144
親会社株主に帰属する四半期純利益	74,144

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	74,144
四半期包括利益	74,144
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	74,144

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年12月16日に東京証券取引所グロースへ上場いたしました。上場にあたり2022年12月15日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行680,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ719,440千円増加しております。また、ストック・オプションの行使による新株式の発行19,800株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ6,442千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金825,882千円、資本剰余金1,612,981千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

当社グループは、生鮮流通プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。